

第 64 回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会

がん診療の変化とチーム医療のこれから —外科医と薬剤師の視点から—

日時：2026年7月11日(土) 14:30～17:45

会場：大阪大谷大学 博物館 2F (11-201教室) ★ハイブリッド開催

参加費：500円 (学生は無料)

★現地参加者は当日受付にて、オンライン参加者は事前振込にてお支払いください。

●プログラム

14:30～

□ 開会挨拶

大阪大谷大学薬学部 薬学部長 広川 美視 教授

□ 講演 1 **がん診療におけるチーム医療の進化と未来を考える**
～胃外科医の視点から考える薬剤師への期待～

市立豊中病院 副院長／がん診療部部長
今村 博司 先生

□ 講演 2 **がん診療で広がる薬剤師の役割**
～治療への参画という視点から～

堺市立総合医療センター 薬剤科長／がん専門薬剤師
藤井 千賀 先生

□ 総合討論

●本学術交流会の生涯研修認定単位は、日本薬剤師研修センター認定対象集合研修会として申請中です。
(日本薬剤師研修単位の交付は PECS(薬剤師研修・認定電子システム)を用いて行います。交付希望の先生方は事前に PECS への登録をよろしくお願いいたします。)

●参加登録方法 下記の申し込み専用サイトから氏名(フリガナ)、ご所属、連絡先(電話番号、メールアドレス)、希望の研修名等をご記入ください。(収集いたしました参加者の連絡先情報は本学薬学部にて厳重に管理し、本交流会の連絡ならびに今後の開催案内等に使用させていただきます。)

申し込み締め切りは、**2026年7月2日(木)**

申し込みサイト(右のQRコードからもお申込できます)

<https://forms.gle/EPXTMG1ZTQrGhKes5>



●会場までのアクセス

最寄り駅：近鉄長野線 滝谷不動駅 (滝谷不動駅から大阪大谷大学まで、約 500 m)

◎近鉄電車をご利用になる場合：大阪阿倍野橋駅(JR 天王寺駅に隣接)から準急河内長野行きに乗車し滝谷不動駅へ(約 35 分)
または急行に乗車して古市駅で河内長野行きに乗り換え。

◎南海電車をご利用になる場合：南海高野線で河内長野駅へ行き、近鉄長野線に乗り換え滝谷不動駅へ(約 36 分)

●問合せ先：大阪大谷大学 薬学部 地域連携学術交流会 実行委員会 事務局

〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3-11-1 TEL: 0721-24-9580 E-mail:yakugaku@osaka-ohtani.ac.jp

第 64 回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会

がん診療の変化とチーム医療のこれから

—外科医と薬剤師の視点から—

● 講演要旨

□ 講演 1

がん診療におけるチーム医療の進化と未来を考える ～胃外科医の視点から考える薬剤師への期待～

市立豊中病院 副院長／がん診療部部長
今村 博司 先生

胃外科医として臨床に携わる中で、がん診療は外科医が手術を中心に担う時代から、薬物療法、支持療法、緩和ケア、栄養療法、リハビリテーションを統合した多職種チーム医療へと大きく進化してきた。本講演では、胃がん診療の変遷を軸に自身の経験を通してがん診療全体の流れを概観する。さらに人口減少と 2040 年問題を背景とした医療提供体制の再編に触れ、がん診療が高度急性期医療へと集約が進む中で、薬剤師に求められる専門性と役割、今後への期待について考察する。

□ 講演 2

がん診療で広がる薬剤師の役割 ～治療への参画という視点から～

堺市立総合医療センター 薬剤科長／がん専門薬剤師
藤井 千賀 先生

がん診療において薬物療法は重要な柱となり、その進歩により治療効果が高まる一方で、副作用も多様化・複雑化している。それに伴い薬剤師の役割は、従来の薬剤説明にとどまらず、副作用評価や処方提案を通じて臨床意思決定に主体的に関わるものへと広がっている。本講演では、診察前介入や退院時サマリを活用した地域連携の実践を紹介し、病院・薬局を問わず薬剤師が治療を支える一員として参画する意義と、今後求められる薬剤師の役割と展望について考える。

●日本薬剤師研修センター研修単位の扱いについて

研修会申込時、薬剤師免許登録番号などをお間違いないように入力ください。入力いただいたデータを日本薬剤師研修センターへ提出させていただきます。研修会開始時間までに必ず入室してください。講演会視聴後、視聴者の入・退室時間を電子的に記録いたします。Zoomによる参加者につきまして、これまでのようにキーワードはありませんが、途中通信が途切れるなど不可抗力によりZoom接続が切断された場合は単位が付与されません。また、接続は必ず、一人につき1台の端末から視聴して下さい。Zoomでの参加者の名前は先生方のフルネームに変更願います。お名前の確認ができない場合や視聴時間が足りない場合も研修単位は付与されません。ログにて要件を満たした方には研修単位2単位が付与される予定です。

●オンライン受講の参加費(500円)について

下記に示した振込用紙記入例を参考に、指定の口座へお振込みください。なお、誠に恐縮ですが手数料は各自ご負担願います。お振込み確認後、講演会2日前を目安にZoomのURL、ID、PWを申し込み時に入力いただきましたメールにお送りいたします。

お振込み先: ゆうちょ銀行 口座記号番号 00970-8-279430 加入者名 大阪大谷大学

○振込用紙の通信欄には必ず「第64回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会の参加費として」および「参加者氏名」をご記入ください。ご記入がない場合、事務局で振り込みの確認が遅れる原因となりますのでご協力をお願いいたします。

○振込手数料節約のために1枚の振込用紙にて複数の参加者の参加費を振り込んでいただくことも可能ですが、その場合、必ず通信欄に何名分もおよび参加者全員の氏名をご記入ください。

○お振り込みいただいた参加費につきましては、欠席の場合にも原則ご返金できませんので、ご了承ください。

○お振込みは7月2日(木)までに完了いただきますようご協力ください。

●振込用紙記入例

00	大阪	払 込 取 扱 票	
口 座 記 号 番 号		金 額	千 百 十 万 千 百 十 円
0 0 9 7 0	8	2 7 9 4 3 0	¥ 5 0 0
加入者名	大阪大谷大学		料 金
通 信 欄	第64回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会参加費 参加者: 大谷 太郎		備 考
ご依頼人	おとところ (郵便番号 584 - 0066) 富田林市錦織北 3 - 11 おなまえ 大谷 太郎 (電話番号 0721 - 24 0381)		日 附 印

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号大第41860号) これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 0 9 7 0 - 8
加入者名	大阪大谷大学
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ¥ 5 0 0
おなまえ	大谷 太郎
ご依頼人	様
料 金	(消費税込み) 日 附 印
備 考	円

この受領証は、大切に保管してください。

必ず通信欄にご記入下さい。

●問合せ先：大阪大谷大学 薬学部 地域連携学術交流会 実行委員会 事務局
 〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3 - 11 - 1 TEL: 0721-24-9580 E-mail:yakugaku@osaka-ohtani.ac.jp